

## ○心理学専攻のシラバス（入学から修了までの標準的なプロセス）

### 【1年次】

- ・入学後、専攻オリエンテーションを行う。「人間総合科学研究科心理・心理学専攻マニュアル（学生用）」等に沿って、履修、研究、研究倫理審査、学位論文審査、奨学金（奨学金返還免除に関することを含む）、TA・TF・RA、心理学専攻学年歴などについて説明する。4月末までに、正副指導教員を決め、研究指導体制を確立させる。
- ・科目の履修では「心理学実験実習Ⅰ」（必修：通年）を履修させ、学類生対象の統計指導に参加させる。統計を指導できる教育者・指導者としての能力を培う。また、3学期からは「心理学実験実習Ⅱ」（必修：前期と後期で構成され1年次は前期分の一部。履修登録は2年次で行う）を履修させ、学類生対象の研究指導に参加させる。研究そのものを指導できる教育者・指導者としての能力を培う。なお、この2科目については社会人に対する柔軟な対応が可能である。
- ・博士論文予備審査会（5月、10月、12月）に参加させる。博士論文の研究レベル等を実感させる。
- ・6月には、すでに提出されている修士論文等を、投稿形式の論文にして提出させる。正副指導教員が点検し指導する。博士論文を提出する際の条件となる「レフリーつき論文2編」を目指して、投稿させる。その後、採択まできめ細かな指導を行う。
- ・指導教員は、随時、博士論文の研究について指導する。
- ・11月には、博士論文構想発表会を開催し、これまでの研究成果と今後の研究計画について発表させ、専攻教員が全員で指導する。その後は、研究計画に沿って研究の推進を促す。
- ・2月には、博士論文進捗状況報告書を提出させ、点検・指導をする。

### 【2年次】

- ・4月に専攻オリエンテーションを行う。2年次にすることを確認させる。
- ・科目の履修では「心理学実験実習Ⅱ」（必修：2学期まで：2年次では前期分の一部と後期分。2年次で履修登録を行う）を履修させ、学類生対象の研究指導に参加させる。さらに、指導教員の「〇〇心理学特別研究」を履修させる（3年次でも構わない）。この科目は、博士論文作成のための科目である。
- ・博士論文予備審査会（5月、10月、12月）に参加させる。
- ・指導教員は、随時、博士論文の研究について指導する。
- ・博士論文の提出にはレフリーつき論文が2編必要であるため、新たに実施した研究をまとめ学術雑誌に投稿させる。採択まできめ細かに指導をする。
- ・2月には、博士論文進捗状況報告書を提出させ、点検・指導をする。

### 【3年次】

- ・4月に専攻オリエンテーションを行う。3年次（最終年次）にすることを確認させる。
- ・科目の履修では、履修面での課程修了要件である「心理学実験実習Ⅰ」「心理学実験実習Ⅱ」「〇〇心理学特別研究」の3科目（6単位）が履修されているかどうかを確認させる。
- ・指導教員は、随時、博士論文の研究について指導する。
- ・博士論文予備審査会（5月、10月、12月）に参加させる。
- ・5月、10月、12月のいずれかの博士論文予備審査会で、博士論文の概要を発表し、審査を受ける。合格すれば、博士論文の提出が可能となる。
- ・1月～2月にかけて、提出された博士論文の審査が行われ（博士論文発表会を含む）、合格すれば課程修了となり、3月に博士（心理学）あるいは博士（学術）の学位が授与される。

# 心理学実験実習 I (02JE0001)

(Laboratory Training in Psychology I)

**授業形態** : 実習

**授業時間** : 1~3 学期、月曜日、第 3・4 時限

**教室** : 2A209 ほか

**単位数** : 2 単位

**履修年次** : 1~3 年

**担当教員** : 全教員 (世話人 : 服部 環)

**研究室** : 人間系学系棟 B302 tel:6712

**オフィスアワー** : 木曜 1 時限目

<e-mail:hattori@human.tsukuba.ac.jp>

---

**教育目標との関連** : 心理学類生に対して心理統計の実習を行うことを通し、大学院修了後に学術研究・教育者あるいは高度専門実務者として研究・教育に当たる上で必要となる心理統計に関する見識及び教育的能力を高める。

**授業の到達目標** : 大学生が心理学の研究・学習を行う上で必要となる、記述統計、推測統計 (仮説検定)、分散分析に関する実習計画及び実習教材を作成し、教育的指導ができること。

**授業概要** : 心理学を学ぶ上で必要となる主要な統計解析技法を「心理統計 (講義)」で学んでいる学類生に心理統計の実習を行う。実習内容 (形式、例題等) に関しては「心理時計 (講義)」の内容に沿った上で自主的に計画する。

**評価方法** : 受講状況

**教科書** : 服部 環・海保博之『Q&A 心理データ解析』福村出版、1996

**参考図書** : ①芝 祐順・南風原朝和『行動科学における統計解析法』東京大学出版会、1990

②後藤宗理ら (編)『心理学マニュアル要因計画法』北大路書房、2000

**授業外における学習の方法** : 心理統計、データ解析等の書籍の講読を通し、実習計画を設計し、準備する。

**受講生に望むこと** : 心理統計は、学術研究・教育者あるいは高度専門実務者として研究・教育に当たる者にとっては必須の学習事項であることを理解しておいて欲しい。

---

## 授業計画 (各週毎授業計画)

以下のテーマについて実習計画を立て、実習を行う。

(1~2 週)

1. 心理統計の考え方と準備 1.1 記述と推測 1.2 基本的演算- $\Sigma$  記号

(3~5 週)

2. 分布の記述 2.1 分布の代表値と散布度 2.2 標準得点と偏差値 2.3 正規分布-中心極限定理

(6~10 週)

3. 相関と回帰 3.1 種々の関係-関係のタイプと統計解析技法 3.2 量的データの関係-相関と因果

3.3 質的データの関係

(11~13 週)

4. 統計的推測 4.1 統計的推論 4.2 標本分布-点推定と区間推定

4.3 仮説検定-2つのエラーと検定力

(14~15 週)

5.  $F$  統計量、 $t$  統計量、 $\chi^2$  統計量を用いた仮説検定 5.1 分散 5.2 平均と平均差

5.3 相関と連関 5.4 検定力分析-効果量と標本の大きさと検定力の関係

(16~18 週)

6. 分散分析と実験計画 6.1 要因と水準 6.2 被験者間要因と被験者内要因

6.3 単純主効果の検定 6.4 多重比較

(19~20 週)

7. ノンパラメトリック検定

# 心理学実験実習Ⅱ (02JE002)

(Laboratory Training in Psychology Ⅱ)

**授業形態**：実習

**授業時間**：1～3 学期 月曜日 第 3～5 時限

**教室**：人間系学系棟 A202 A321 B301 B334 B335

**単位数**：2 単位

**履修年次**：1～3 年

**担当教員**：全教員（世話人：佐藤有耕）

**研究室**：人間系学系棟 A344 tel:4695

**オフィスアワー**：火曜 11:40～12:00

<e-mail:yuhkohst@human.tsukuba.ac.jp>

---

**教育目標との関連**：おもに教育者や指導者としての能力の形成を図る。

**授業の到達目標**：各種の心理学研究法を学生に教えることを通して、心理学研究法の教育・指導に関する能力を形成する。

**授業概要**：各指導教員が担当する研究グループの学生に対して、教員の指導のもと、院生が中心となって共同研究を遂行させる。研究構想から始まり、研究計画、研究の実施、データ分析、論文執筆、研究成果のプレゼンテーションまでを遂行させ、研究を完成させる。共同研究は前期と後期の二回に分けて実施する。

**評価方法**：研究指導の過程と研究成果の水準を総合的に勘案して単位の認定を行う。実習であるためテストは行わない。

**教科書**：実習のため指定しない。

**参考図書**：①南風原朝和・市川伸一・下山晴彦（編）『心理学研究法入門：調査・実験から実践まで』東大出版会、2001

②服部 環・海保博之『心理データ解析:Q&A』福村出版、1996

③松井 豊『改訂新版 心理学論文の書き方：卒業論文や修士論文を書くために』河出書房新社、2010

**授業外における学習の方法**：研究についてわかりやすく学生を指導するため、最先端の心理学研究法について、各自が積極的に学習を深めておくことが求められる。

**受講生に望むこと**：研究の高度な学術的水準の達成と学生に対するわかりやすい授業の両方を兼ね備えた内容になるよう真摯に取り組むこと。

---

## 授業計画（各週毎授業計画）

0. 全体オリエンテーション

1. 前期コース研究指導 1：各研究課題における研究動向の検討

2. 前期コース研究指導 2：各研究課題における研究の構想

4. 前期コース研究指導 3-4：各研究課題における研究計画の立案

5. 前期コース研究指導 5-7：各研究課題における研究の実施(実験、調査、観察、面接等)

6. 前期コース研究指導 8-10：各研究課題における結果の分析

7. 前期コース研究指導 11-12：各研究課題における論文の執筆

8. 前期コース研究指導 13：各研究課題におけるプレゼンテーションの準備

9. 前期コース研究指導 14：研究発表会の開催

\*後期コースも前期コースと同様に実施する。

# 心理教育の方法 (02JE006)

(Methodologies for Psychology Teaching)

**授業形態**：演習

**授業時間**：(不定期)

**教室**：人間系学系棟 B301

**単位数**：1 単位

**履修年次**：1～3 年

**担当教員**：小川俊樹 (世話人)、濱口佳和、  
杉江 征、佐藤 純、望月 聡

**研究室**：人間系学系棟 A403 tel:6710

**オフィスアワー**：火曜 11:00～13:00

<e-mail:ogawato@human.tsukuba.ac.jp>

---

**教育目標との関連**：心理学教育の専門家を育成するために、教員とともに議論をすることで、心理教育の方法を身につけさせる。

**授業の到達目標**：心理学教育の方法の開発ならびに実習の展開の仕方について実践的に学ぶ。

**授業概要**：心理専攻、心理学専攻合同の FD 研究会に参加し、指導教員の指導のもと、報告を行い、議論に参加することを通して心理教育の実際に触れ、知識情報を身につける。

**評価方法**：出席およびレポート。

**教科書**：とくになし。

**参考図書**：随時、有用な図書情報を配布する。

**授業外における学習の方法**：心理学研究法、統計実習における心理学教育に参加し、心理教育の実際について情報を収集し振り返ること。

**受講生に望むこと**：研究会では積極的な発言をすること。

---

## 授業計画 (各週毎授業計画)

事前に予告される、心理専攻、心理学専攻合同の FD 研究会に参加し、指導教員の指導のもと、報告、議論、レポートの提出を行う。